

かがやく女性

vol.58

2025年3月25日発行
(公財)ふくい女性財団

- The Fukui Women's Foundation News Letter -

特集

アンコンシャスバイアス

これまで過ごしてきた環境や経験や知識が、「無意識の偏見」として、ときに決めつけや押しつけの言動になってあらわれ、自分についても相手についても存在意義ややる気をそいでしまうおそれもあります。また、地域や年代・性別によってはこのようなアンコンシャスバイアスが原因で若年層（とくに若い女性）の都会への流出や人口減少につながりかねません。そこで今回は、福井県立大学の塚本先生より、アンコンシャスバイアスがもたらす弊害を乗り越え、誰もが生きやすい社会にするためのヒントについてご紹介いただきました。



福井県立大学
看護福祉学部社会福祉学科

教授 塚本 利幸 氏

アンコンシャスバイアスという言葉をご存じでしょうか。耳にする機会が増えていますが、まだまだ日常的な用語としては定着していないかもしれません。アンコンシャスは「無意識の」を、バイアスは「偏見や先入観、思い込みなどの認識の歪みや思考の偏り」を、意味するので、あわせて、「無意識の偏見や思い込み」といった意味になります。

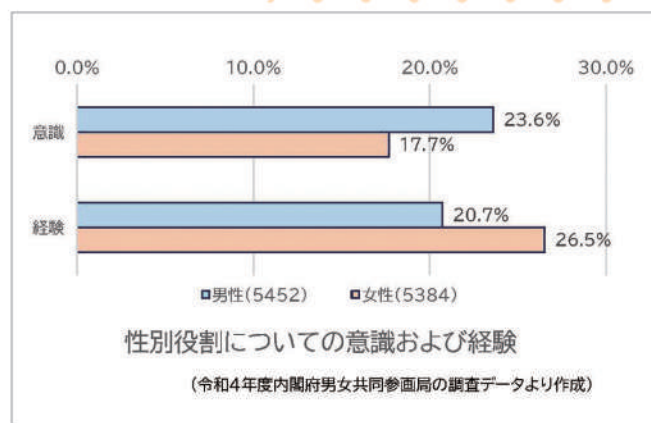
広い意味でのアンコンシャスバイアスには、さまざまなものが含まれます。例えば、日本人の多くは、「虹は何色？」と尋ねられると、迷いなく「7色」と答えると思います。でも、同じ質問に、アメリカ人やイギリス人なら「6色」、ドイツ人やフランス人なら「5色」と答えるようです。実際の虹の色はグラデーションをなしており、連続的、段階的に移り変わっていくので、どこに切れ目を入れて認識するかは話している言葉によって相対的になるようです。7色という日本語の分け方に必然性はありませんが、日本語だけが話されている環境で暮らしていると、それが必然性のない先入観であることに気付くことは困難です。このケースでは他言語との比較（対話）を通して、初めて、必然性の無さを意識するこ

とができます。アンコンシャスバイアスは、無意識の思い込みだからこそ自覚しにくく、チェックには別の視点との比較（対話）が必要になります。

アンコンシャスバイアスは守備範囲の広い概念ですが、最近では、ジェンダーに関するアンコンシャスバイアスが、ジェンダーバイアスとして取り上げられる機会が多くなってきています。「働いて家計を支えるのは男性の役割」、「家事や育児を担うのは女性の役割」、「女子は理系に向かない」、「男子は人前で泣いてはいけない」といったジェンダーに関するアンコンシャスバイアスは未だに根強く、私たちはそうした思い込みに囲まれて暮らしています。未婚者に対する「まだ結婚しないの」といった発言は、「結婚するのが当然である」という思い込みを、女の子を出産した人に対する「次は男の子だね」といった発言は、「跡継ぎの男子を生むことが望ましい」といった思い込みを、前提にしていると考えられます。口にした人には特に悪気はなく、必然性のない決めつけを他人に押し付けているかもしれないという可能性に気付いていないだけ、といったケースも少なくないかもしれません。しかしながら、こうした思い込みの押し付けは、虹が何色であるのかとは話が違って、他人の生き方の選択を制約することに繋がりがねません。当人にとってもいろいろな可能性を狭める（見えなくする）こともありえます。

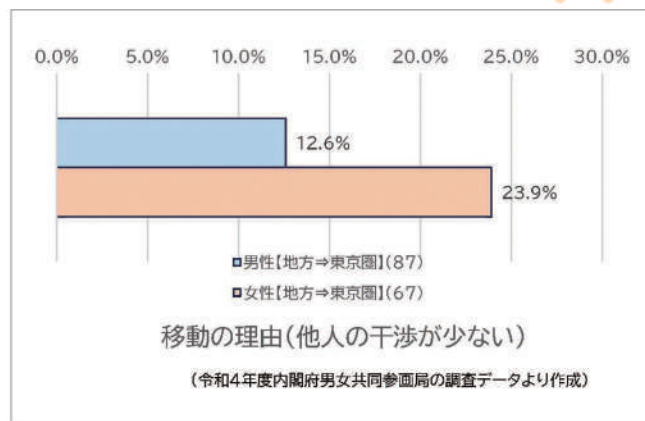
内閣府の男女共同参画局が、令和4年度に性別による無意識の思い込み（アンコンシャスバイアス）に関する調査を実施しています。性別役割に関する41の項目に

関して、回答者本人の意識については、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」の4段階で答えてもらい、他人から性別に基づく役割や思い込みを決めつけられた経験については、直接言われたり言動や態度から感じたりした経験の有無を尋ねています。「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合で男女差が大きいのは、「デートや食事のお金は男性が負担すべきだ」（男性34.0%、女性21.5%）、「男性は結婚して家庭をもって一人前だ」（男性30.4%、女性17.9%）、「男性は人前で泣くべきではない」（男性28.9%、女性17.6%）といった項目で、「男性は～べきだ」という思い込みに強くとらわれているのは、男性の方です。一方、他人からの経験の有無に関しては、「家事・育児は女性がすべきだ」（男性26.9%、女性40.8%）、「女性は感情的になりやすい」（男性26.6%、女性36.2%）、「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」（男性29.1%、女性34.6%）と、決めつけの経験にさらされやすいのは、女性の方です。41項目の平均に関しても、思い込みが強いものは男性に多く、決めつけにあった経験は女性に多いことが分かっています。



男性のジェンダーバイアスに関しては、「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」、「男性は人前で泣くべきではない」といった思い込みが強いと、ブラックな働き方

から抜け出したり、他人に弱みを見せたり、しにくくなります。男性の自殺率の高さ（女性の2倍以上）の一因になっている可能性が高いと思われます。地方から東京圏に移住した理由に関して、「他人の干渉が少ない」という選択肢を選んだものは女性の方が多く（男性12.6%、女性23.9%）で、他人の決めつけにさらされる経験は、地方からの女性の流出につながり、人口減少の一因になっていることが予想されます。



必然性のない思い込みからは自由になった方が、自分にとっても、周囲の人たちにとっても、社会全体としても、風通しがよくなっていくはずですが。ただ、アンコンシャスバイアスが厄介なのは、無意識の思い込みなので、自力（だけ）でそれに気付くことが困難だということです。実際にできることは、他者から指摘された場合に、それを真摯に受け止め、自分の側の無意識の思い込みが原因である可能性を冷静にチェックし、該当するのであれば、バイアスを修正し、態度を改める姿勢でいること、そして、そうした姿勢を共有していくことです。

なにせ無意識のバイアスなので、その解消には、地道で気の長い取り組みが必要になります。それでも、誰にとっても（そこには自分も含まれます）風通しのよい社会を目指す上で重要なのは、最近はやりの「論破」（正しさを巡る競争）ではなく、対等な立場での相互批判を含む「対話」（適切さを巡る協働）なのだと思います。



アンコンシャスバイアスについて考える講座を実施しています！

次世代育成セミナー

開催校

坂井市立丸岡中学校、福井市進明中学校、福井市清水中学校、勝山市立勝山南部中学校

中学生を対象に、固定的性別役割分担意識にとらわれることなく、将来の職業や生き方を選択できるよう、先輩方の体験などを学ぶセミナーを開催しました。性別職域分離に関する講義のほか、異性が多い職業に就く方に、仕事の内容や目指した理由、仕事のやりがいなどをお話いただきました。



ふくい女性活躍支援センター

ふくい女性活躍支援センターでは、就職相談・職業紹介、キャリア相談、保育所・子育て相談に応じています。

例えば

- ☑求人に応募したいので、紹介状が欲しい
- ☑自分がどんな仕事に向いているか知りたい
- ☑履歴書、職務経歴書を作りたいが、なにを書いていいかわからない
- ☑今の仕事を続けていくことに不安がある
- ☑保育所の入園の仕方、特徴などの情報が欲しい
- ☑子育て支援についての情報がほしい。など

■就職やキャリアアップに役立つ図書や雑誌を貸し出しています（3冊、2週間まで）

嶺南出張就業相談会(前期予定日)

嶺南にお住まいの皆様にも、センターを利用していただけるよう、出張相談を実施しています。

【小浜会場】令和7年度から実施時間が変更になりました！

働く婦人の家（小浜市大手町4-1）

※原則第1水曜日10:30～15:30（5月のみ第2水曜日）

4月2日、5月14日、6月4日、7月2日、
8月6日、9月3日

【敦賀会場】

松原公民館（敦賀市新松島町22-48）

※原則第4水曜日10:00～15:00（9月のみ第3水曜日）

4月23日、5月28日、6月25日、7月23日、
8月27日、9月17日

お気軽にご相談ください！

【問い合わせ】ふくい女性活躍支援センター



【相談時間】9:00～16:45

※相談時間は内容により異なります。

【休日】毎週月曜日、第3日曜日、国民の祝日の翌日、
年末年始（12/28～1/4）

【TEL】0776-41-4244

【場所】福井県生活学習館（ユー・アイふくい）2階



！初回無料！

社外メンターとのキャリア相談会(メンタリング)を実施します

社内で女性活躍を牽引し、管理職やリーダーとして活躍する社外メンターが、今後のキャリア形成や働き方などの不安や悩みに対しアドバイスを行います。女性社員の「なんとなく不安」の解消にぜひご活用ください。

【対象企業】ふくい女性活躍推進企業

【相談者の要件】ふくい女性活躍推進企業に勤務する女性社員

【お問い合わせ】ふくい女性財団 TEL：0776-41-4254

社外メンター詳細ページ



【相談者の声】

誰にも言えないことが話せて、気持ち
が整理できました。自分が何をすべきか
明確になり、また頑張ろうと思えました。

【企業担当者の声】

社内の上下関係では得られない気づき
があり大変参考になったようです。他の
社員にも受けてもらいたいです。



チャイルドルーム

学び直しや資格取得等で頑張る
パパ・ママを応援しています！



👤利用できる方👤

下記の施設をご利用の方

県生活学習館、中小企業産業大学校、県立図書館、
文書館、ふるさと文学館

講座参加はもちろん、施設を利用して学習時間をお過ごし
の場合もぜひチャイルドルームをご利用ください。

👤お預かりできるお子さん👤

生後6か月から小学校就学前のお子さん

👤利用できる時間👤

生活学習館開館日の9:00～12:00、
13:00～17:00

👤利用方法👤

ご利用日の**3営業日前**までにWebにて予約

👤費用👤

お子さん1人につき半日300円

利用申込はこちらから



キャリアアップ応援講座

事務ミスゼロの仕事術

(株)ビジネスプラスサポート 人材育成プロデューサー
麻野 由佳氏

ミスの種類と起きる原因の理解、改善方法について具体例をふまえ、学びました。日常化した業務の目的を改めて見直し、廃止や削減、単純化する必要性を知りました。最後に、明日から職場で実行する対策を自分で考え、共有しました。

プロセスを工夫することによって防ぐことができると知り、明日から考え方を改めたい



ミスに対する意識と対策までの深掘りの仕方を知れてとても参考になった

女性リーダーサポート講座

心理的安全性の高いチームビルディング術

(株)ザ・アカデミージャパン プロフェッショナルトレーナー
林 朋子氏

心理的安全性とは対人リスクを取っても安全な状態のことであり、チーム成功のために大切だと学びました。チーム作りでリーダーがすべきは、自分や部下の強みにフォーカスしたり、防衛心をやわらげることであり、カードを使いながら各々の強みの発見方法を身に付けました。

自分の防衛心をやわらげ、相手の自尊心を高めていくことの重要性を強く感じた



傾聴力が課題だったので勉強になった

ハッピーキャリア“縁”カレッジ

ロールモデル交流実践講座

ふくい女性財団が委嘱する社外メンター
(株)デンソー 田内 真紀子氏 ほか

福井県主催「ハッピーキャリア“縁”カレッジ」の受講生を対象に、仕事と家庭の両立や仕事上の不安・悩みを共有するグループワークを行いました。その後実施した交流会では、県内外で活躍するロールモデルから、それらを解消するヒントをもらいました。

チャンスを与えられたときは前向きに行動していきたい

困難な状況でも諦めずに、周りのサポートを得ながら進んでいきたいと思った



指導者養成講座

令和を生きるシニアのウェルビーイング

(株)博報堂シニアビジネスフォース・新大研所長
安並 まりや氏

歳をとることで、気持ちと身体のギャップが大きくなり、衰えに戸惑い悩むことがあるが、人生100年時代を生きるシニア世代は、光だけでなく影も見つめることで、新たな価値観を生み出すことが必要だと話されました。また、エイジングに伴う課題を改善・解決するテクノロジーの事例も紹介いただきました。

これからのことを考える良い機会になった



改めて自分らしく生きることを考えながら行動したいと思った

女性財団 開催講座報告

地域連携講座

「男女共同参画」で地域づくりを考える —老若男女で地域を支えるには—

福井大学 田中 志敬 氏

深刻化する人口減少・少子高齢問題から地域を考え、今後は老若男女問わずに対応していけないと地域社会が立ち行かないという視点で、男女共同参画について学びました。また、地域の活動・行事を見直し、誰でも気軽に担い手となれるようにするための具体的なアイデアをお話いただきました。



初めて聞く考え方で、町内への参考にしたい

「負担軽減」「皆で協力しないと継続できない」という視点での具体的な対応例が豊富だった

働くための再就職支援セミナー

働く上で知っておきたい 社会保険・労働関係法のポイント

これまでの自分の経験を振り返り、将来に向けた働き方を考えることが必要であること、税金の壁・社会保険の壁を理解し、扶養の範囲及び社会保険加入での働き方や社会保険のメリットについて説明がありました。また、近年パワハラの相談が増えていることから、労働条件等に関する疑問や不安等は一人で悩まず、困った時の相談先があることも学びました。



分かりやすい社会保険制度等の説明で再就職の参考になった

気になる扶養範囲に関する部分を理解出来てとても良かった

教育連携講座

みんなちがって みんなステキ

福井工業大学 武内 昭子 氏

性の多様性について、小学校低学年生相手にクイズや多様性を考える絵本の朗読を交え、分かりやすく説明いただきました。いかに自分たちが思い込みや決めつけた考えをもっているのかを思い起こさせ、「心の性」、「体の性」「好きになる性」「表現する性」などの性を学習しました。



自分とみんなのこせいを大事にしたいと思った

みんながちがうからいいことがいっぱいあるなと思った

DV防止啓発教育講座

知ってほしい考えてほしい デートDVのこと ～加害者にも被害者にも傍観者にもならないために～

ふくい女性財団職員

DV（デートDV）等の発生の未然防止や啓発を目的とした講座を県内の高校等で実施しました。DVについて正しく知ること、もし悩んだ時は一人で抱え込まず信頼できる人に相談することの大切さを学びました。



自分が気をつけるだけでなく周りが困ってたりした時に話を聞いてあげたい

私が思っているよりもDV被害を受けている人がいること、人ごとではないなと感じた

焚き火×ホンネカフェ開催

期間：令和6年11月10日、11日（2日間）

会場：足羽川河川敷（泉橋～幸橋間）



ふくい女性活躍支援センターで実施している「ホンネカフェ」。今年度もまちづくり福井(株)とタイアップして「焚き火×ホンネカフェ」を開催しました。焚き火を囲みながら、参加者の経験談やその時の思いなどを聞いて、それぞれの年代や立場のモヤモヤを共有しました。

屋外という開放的な空間の中、初対面の皆さんも、次第に打ち解けて、火を前に本音で話し合ううちに、時間もあっという間に過ぎたようです。惜しみながら帰宅する方や、打ち解けて次に会う約束をされる方々などそれぞれで、「来年もこのような機会があれば絶対に参加します」と宣言された方もおられて、好評の2日間でした。



ゾンタクラブコラボ

期間：令和6年11月25日～12月10日（16日間）

会場：西武福井店8階

ふくい女性財団では、事業紹介のパネル展示や配偶者からの暴力（DV）防止に関する予防啓発パネル展、リーフレット等の配布を行いました。



この活動は、国の「女性に対する暴力をなくす運動」にちなみ、賛助会員団体の国際ゾンタ福井ゾンタクラブ、国際ゾンタ26地区福井FINEゾンタクラブの「ZONTA SAYS NO」キャンペーンとの共催



により実施され、福井駅西口広場恐竜モニメントのライトアップなども行われました。



新加盟団体紹介

ふくいの女性起業家交流会 ふくむすび会

【主な活動や方針について】

ふくむすび会は、女性起業家の成長と交流を支援する会です。主に「例会部」「イベント部」「交流部」の3部門で活動し、ビジネススキル向上やネットワークづくりを推進しています。

地域活性化イベント「あきんどフェスタ」では、会員が商品・サービスを発信し、ビジネスの可能性を広げています。秋に行われる大型例会での「バスツアー」等を通じて、視察や会員同士の親睦を深め、新たな学びや協力関係を築いています。様々な活動を通じて、女性起業家の成長と地域社会への貢献を目指しています。

【これからの抱負とメッセージ】

ふくむすび会は「繋がり・学び合い・成長し合う」会を目指しています。

今後も各部（例会・イベント・交流）の活動を通し、会員同士の絆を深めながら共に前進していきます。また、地域との繋がりを大切にしながら新たなことにもチャレンジしていきます。

当会は、一人ひとりの夢や目標を応援する会です。共にワクワクする未来と一緒に築いていきませんか？起業の形はさまざまですが、仲間がいることで新たな一歩が踏み出せるはず。これから起業する方、すでに起業されている方、是非一度例会にご参加ください。



池田町 いやしの里いけだにて例会



ふくむすび会 会員紹介動画制作

ユー・アイふくい 相談室

※※※ ひとりで抱え込んでいませんか? ※※※

- ☒ パートナーから暴力を受けている
- ☒ 家族・夫婦・友人関係がうまくいっていない
- ☒ 離婚を考えているけど、その後の生活が不安
- ☒ 子育てについて悩んでいる
- ☒ 自分自身のことで悩んでいる

女性相談員がDV、女性のさまざまな悩みに寄り添い一緒に考えます。

秘密は厳守します。まずはお電話ください。



ユー・アイふくい相談室(運営:ふくい女性財団)

- 女性総合相談 ● DV被害相談
 - 特別相談 ([こころ]第1土曜日、[法律]第4土曜日)
- 相談専用電話: 0776-41-7111
火～日曜日 9:00～16:45

DV防止啓発活動

街頭啓発キャンペーン・パネル展



11月12日から25日「女性に対する暴力をなくす運動」の期間にあわせて、県内各地でDV防止啓発と相談機関の周知を目的とした街頭啓発キャンペーンとパネル展を実施しました。

実施場所

[街頭啓発] 福井駅、エルパ、敦賀駅

[パネル展] 生活学習館、県立図書館、鯖江市役所、おばま食文化館など県内8か所で実施



ふくいウイメンズ・オアシス

開館日の9:00～12:00、13:00～17:00
[TEL]0776-89-1008



女性のためのピアサポートサロン

～心のゆとり・知恵・情報をゲット&仲間とつながる場～

身近なテーマを設定し、人の話を否定しないという約束の下で、女性同士が少人数で気軽におしゃべりする「ピアサポートサロン」は、「話す・聴く」のどちらも大切にする時間。今年度の開催は、120を越えました。

穏やかな会話があれば、共感できすぎて大盛り上がりの会話、時には涙がふれる語りもあります。自分のことを話し、他者を思いやりながら聴き、ともに時間を過ごすことによって、参加された皆さんに“力”が生まれている気がします。私たちは、決して“ひとりじゃない”と思っています。

さまざまな思いを抱えた女性たちの、心のオアシスになれることを願って運営しています。お気軽に足を運んでみてください。

《参加者の声》

- ・うまく話せるか不安だったけど、ゆっくり話を聞いてもらえて嬉しかった。
- ・同じ境遇の方と会えて、心強かった。
- ・楽しい時間を過ごせた。
- ・他の方の話も聞いて、参考にもなり、気持ちが楽にもなった。
- ・なかなか話せないことも話せ、専門家からの助言もあり、感謝。

サロンあれこれ



【ふくい女性財団の企画「くるり」】身近なテーマを設定し、専門家を交えたサロン



【ピアサポーター(公募・登録制)連携サロン】それぞれの悩みや課題の当事者・経験者によるサロン



【出かけるピアサポートサロン】県内各地で開催するサロン

【わたしの時間】スタッフと話したり、ゆっくり一人の時間を過ごしていただくためのサロン

経済的に困りの方に無償で生理用品の提供もしています

会員のつどい開催

日時：令和7年3月9日(日)
会場：福井県県民ホール



賛助会員団体と、当財団の事業を支えていただいている皆さまの交流の場として、今年も開催し、知事や来賓の方を交えて、抽選会や懇親会で交流を深め、和やかな雰囲気の中、男女共同参画推進に向けた活動のさらなる充実を誓いました。

3月8日「国際女性デー」(ミモザの日)にちなみ、3月に「会員のつどい」として行うようになり2年目。「ミモザの日」が定着していると感じました。



ふくい女性財団は設立30周年を迎えます 2025.11.1 ありがとうございます

ふくい女性財団設立30周年記念

ふくいきらめきフェスティバル2025

日時：令和7年6月22日(日)
会場：福井県生活学習館

今年のふくいきらめきフェスティバルは、高尾美穂さんを講師に迎え、記念講演を開催します。皆様のご参加をお待ちしております！

高尾 美穂氏 (産婦人科医・医学博士・産業医)
女性のための統合ヘルスクリニック「イーク表参道」副院長。
働く女性の産業医として内閣府男女共同参画局・人事局などで職員研修を担当。長年ヨガを愛好し、多くのヨガインストラクターを指導。
YouTube「高尾美穂からのリアルボイス」では毎日、女性のお悩みに答え、楽に生きられる考え方を配信している。



財団サポーターになりませんか？

賛助会員募集

ふくい女性財団では、財団の趣旨に賛同し、応援し一緒に歩んでくださる賛助会員を募集しています。

年会費 (すべて1口あたりの金額です)

- ・県域法人および団体 10,000円/口
- ・地域法人および団体 5,000円/口
- ・一般 (個人および企業) 3,000円/口

会員特典

- ・機関紙・研修案内送付
- ・有料講座の割引
- ・研修会等への優待
- ・女性団体支援事業による助成 (団体会員のみ要審査)
- ・生活学習館1階カフェ[ブチル]割引クーポン
- ・2回目以降の社外メンター派遣利用料金2割引 (一般[企業]会員のみのみ)

寄附金募集

「DV被害者等自立支援基金」「一般寄附金」の寄附を幅広く募集しています。

いただいた寄附金は、DV被害者などへの金銭的支援や当財団の運営に有効に使用させていただきます。

詳しくは、財団ホームページをご覧ください。

令和6年度 寄附のご紹介 (令和7年3月現在)

「一般寄附金」匿名希望1件 ランドセル14個
寄附総額 1,090,000円相当

※当財団の賛助会費と寄附金は税制上の優遇措置対象

かがやく女性 vol.58 編集・発行 公益財団法人ふくい女性財団



〒918-8135 福井市下六条町14-1 福井県生活学習館(ユニー・アイ ふくい) 2階

TEL: 0776-41-4254 / FAX: 0776-41-4260

✉ f-jhosei@f-jhosei.or.jp

🌐 <https://www.f-jhosei.or.jp/>

次回は令和7年9月発行です

ふくい
女性財団HP



ふくい
女性財団
各種SNS



令和7年度 ふくい女性財団開催講座のご案内

働く女性のキャリアアップ応援

｜キャリアアップ応援講座｜

対象：県内の働く女性

日 時	内 容	講 師	定 員
5月15日(木)13:00～16:00	 ビジネスマナー	ことは理 代表 榎谷 真澄 氏	30名
11月12日(水)13:00～16:00	アサーティブコミュニケーション	(特非)アサーティブジャパン	30名
1月22日(木)13:30～16:30	 カスタマーハラスメント対策	(株)ビジネスプラスサポート 人財育成プロデューサー 竹内 真佐子 氏	40名
2月26日(木)13:00～16:00	部下・後輩に対するコミュニケーション& コーチング入門	オフィス・マインドルージュ 藤田 由美子 氏	30名

企業における女性活躍推進

｜キャリア・アカデミー｜

対象：女性管理職予備層・管理職

日 時	内 容	講 師	定 員
9月4日(木)10:00～15:30	 女性管理職予備層対象 ビジネスリーダーシップ（基礎編）	(株)Woomax ファウンダー 竹之内 幸子 氏	40名
9月25日(木)10:00～15:30	 女性管理職予備層対象 ビジネスリーダーシップ（応用編）	(株)Woomax ファウンダー 竹之内 幸子 氏	40名
10月23日(木)～24日(金)[2日間] 10:00～15:30	女性管理職対象 レジリエンス	(株)ザ・アカデミージャパン プロフェッショナルトレーナー 林 朋子 氏	30名

｜女性リーダーサポート講座｜

対象：女性部下を持つ管理職(性別不問) 定員：30名

日 時	内 容	講 師
7月30日(水)10:00～15:30	女性部下へのコーチング	(株)シェヘラザード 代表 坂本 祐央子 氏

家事・育児参画

｜パパ・ママ応援講座｜

対象：子育ての中の夫婦とその子ども(小学生まで) 定員：15組／回

日 時	内 容	講 師
8月3日(日) 10:30～12:00/13:00～14:30	子育て中の夫婦と小学生のお子様対象 親子のおこづかい講座	(株)イー・カンパニー 代表 八木 陽子 氏
9月27日(土)13:30～15:00	子育て中の夫婦と小学生までのお子様対象 家族の防災講座	危機管理アドバイザー・防災士 飛田 幸平 氏
12月6日(土)13:30～15:00	子育て中の夫婦対象 家事の時短術講座	時短家事コーディネーター®Expert 佐治 直氏

男女パートナーシップ推進

｜指導者養成講座｜

対象：男女共同参画に関する地域・組織のリーダー 定員：30名／回

日 時	内 容	講 師
7月12日(土)13:30～15:00	2025年内に実現するか!? 選択的夫婦別姓のこれまでとこれから	一般社団法人あすには 代表理事 井田 奈穂 氏
8月27日(水)13:30～15:00	地域のウェルビーイング ～ウェルビーイングを支える大事な場所を考える～	福井県立大学地域経済研究所 准教授 高野 翔 氏
10月12日(日)13:30～15:00	カーボンニュートラルのカードゲーム	特定非営利活動法人エコプラザさばえ 楳原 秀典 氏
10月or11月(土)13:30～15:00	差別のアップデート	北陸先端科学技術大学院大学 特任准教授 元山 琴葉 氏

※2025年3月時点の情報です。講座は原則生活学習館で開催します。  オンライン開催の講座  嶺南地域開催講座

※講座内容、講座時期、講師は変更となる可能性があります。詳細はホームページをご覧ください。

令和7年度 講師派遣のご案内

ふくい女性財団では、性別をこえて誰もが輝く社会づくりに向け、研修会や講座を実施する団体に講師を派遣しています。ぜひご活用ください。各講座に関する案内はホームページ等をご確認ください。

◆男女共同参画社会の推進に関するもの(ただし、営利・政治・宗教活動を除く)

講座名称	対 象	開催テーマ(例)
地域連携講座	地域で活動する団体等	- 性の多様性について理解を深める - DVの現状 - 男女共同参画の視点での防災 - 男女共同参画の視点での介護・健康 - 男性の家事育児参加
教育連携講座	学校や教育関係団体	- LGBTQについて - 家族のありかた - 親子で楽しむキャリア教育 ～性別にとらわれない職業選択～
県民活動支援講座	県内で活動するグループや団体	- ジェンダー平等について - 男女共同参画の理解促進 - 雇用における男女共同参画の推進 - 女性の活躍推進について

[募 集 期 間] 令和7年4月～令和8年2月

●前期：令和7年4月～令和7年9月(前年度に派遣実績がない団体など)

●後期：令和7年10月～令和8年2月

※各講座によって募集件数が決まっており、申込時期によってはお断りする場合があります。

[実 施 時 期] 令和7年5月～令和8年3月

[依 頼 方 法] ●まずは、電話やメール等でふくい女性財団までご相談ください。

●開催希望日の1ヶ月前までに申請書をふくい女性財団まで提出してください。

◆女性活躍推進(男女問わず働く方すべてが活躍できる職場づくり)に関するもの

講座名称	対 象	開催内容(例)
企業連携講座	ふくい女性活躍推進企業	- アンコンシャス・バイアスについて - ハラスメントの防止に向けて - キャリアデザイン - コミュニケーションスキルの向上 - 女性の更年期やPMSと働き方 - ワーク・ライフ・バランス

[募集企業数] 5企業(原則先着順・これまでに実施していない企業を優先します。)

[募集期間] 令和7年6月～令和8年1月

[研修時間] 令和7年8月～令和8年3月

[研修時間] 90分程度

[依頼方法] 開催希望日の2ヶ月前までに、ふくい女性財団までご相談ください。(派遣申請書、実施報告書を提出いただきます。)

◆学校等における講座に関するもの

講座名称	対 象	開催内容(例)
DV防止啓発教育講座	県内高校等	- DV、デートDV防止の基礎学習 - デートDVの現状
次世代育成セミナー	県内中学校	- 性別職域分離に関する講義 - 異性が多い職種で働くひとの体験談発表

[募集期間] DV防止啓発教育講座・・・令和7年4月～令和8年2月/次世代育成セミナー・・・令和7年4月～令和7年12月

※各講座によって募集件数が決まっており、申込時期によってはお断りする場合があります。(原則先着順)

※7月中に次世代育成セミナーの開催を希望する場合は、遅くとも5月9日(金)までにお申し込みください。

[実施時期] DV防止啓発教育講座・・・令和7年4月～令和8年3月/次世代育成セミナー・・・令和7年7月中旬～令和8年2月

[依頼方法] ●まずは、電話やメール等でふくい女性財団までご相談ください。

●開催希望日の1ヶ月前(次世代育成セミナーは3か月前)までに申請書をふくい女性財団まで提出してください。

各講座共通事項

[講 師] 講師は主催者と協議のうえ決定します。(県内講師に限りです)

[参 加 人 数] 1講座あたり20名以上(原則)

[費用負担等] ●講師の謝金および旅費は、ふくい女性財団が負担します。

●アンケート用紙(様式は財団指定)の準備と実施後の回収にご協力ください。

<お問い合わせ先> 公益財団法人 ふくい女性財団

〒918-8135 福井県福井市下六条町14-1(福井県生活学習館内)

TEL:0776-41-4254 FAX:0776-41-4260 E-mail:f-jhosei@f-jhosei.or.jp



ふくい
SDGs
パートナー

